

■フォークロアやエスニックのニュアンスのある物と、同時にジオメトリックパターンが増加している。ジオメトリックでは、モノトーンカラーの千鳥格子がとても多い。チェック&ストライプはシンプルなタイプに注目が集まっており、インテリアファブリックスでは特にギンガムチェックが多くなっている。パターンについても基本を再認識する傾向がある様思う。

ジオメトリックパターン	イカット・タイダイニュアンスパターン	シンプル・チェック&ストライプ
<p>ジオメトリックはモノトーン表現が多い</p> 	<p>特にプリントでの表現が目立っている</p> 	<p>ギンガムやマドラス・タータンが多い</p> 
フォークロア&エスニックパターン	サークルパターン	
<p>民族的なパターンの新しいカラー展開に注目</p> 	<p>引き継ぎが多いサークルパターン インテリアファブリックスでは特にバリエーションが多くなる</p> 	

■昨年まで6ホールに多かったガーリースタイルを様々なホールで見ることが出来た。また組み合わせが自由にカスタマイズ出来るアイテムが増えている。その他、構造体(骨組み)をイメージするアイテムや異素材の組み合わせが、近年注目されている様だ。特筆したい点としては、インパクトのあるディスプレイ。展示手法は、商品に更に魅力を与えており見せ方の大切さを痛感する。

ガーリーミックススタイル	カスタマイズ可能なアイテム	
<p>ガーリースタイルが、価格帯の高いアイテムにも広がる カラーの使い方が楽しい</p> 	<p>カスタマイズで面白さが広がる</p> 	
インパクトディスプレイ	構造体(骨組み)イメージ	異素材の組み合わせ
<p>ディスプレイによりアイテムの魅力を強調 コンセプトを感じる提案が充実</p> 	<p>削ぎ落としたシンプルさが面白い</p> 	<p>近年多い異素材の組み合わせ</p> 